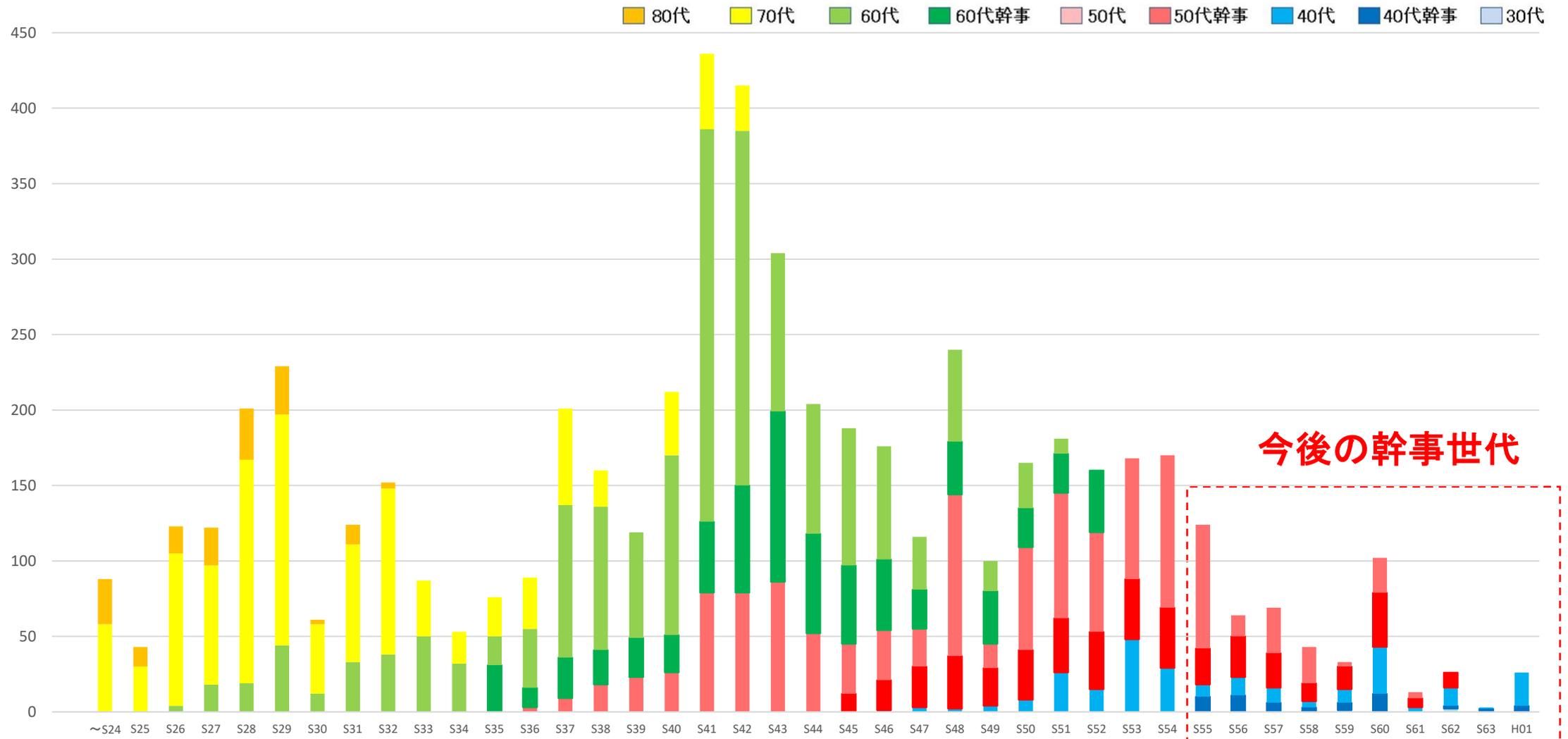


広島同窓会のあり方検討の結果報告 ～組織再編案～

2020.2.8 第32回三次高校広島同窓会 幹事会
「組織活性化チーム」による検討結果(2019.7～8月)

1 出席状況分析 (卒業年次別)

14回～31回累積



当番幹事年以外は 特定の年次に集中

2 目指す姿

■出席する目的

- ・同級生、既知の先輩、後輩と会って楽しい時間を過ごしたい
 - ・仕事や趣味の人脈を広げたい
- ⇒ コンセプトの定義

「同窓」の縁で旧交を温め、そして新たに出会える“場”
～人との絆は、個の力を超えたパワーを引き出す～

■目指す姿と課題

- ・金銭的にも時間的にも、幹事の過度な負担なく実施できる状態
- ⇒ 分析に基づいた無理のない効果的な企画で実施
／事務処理の効率化／幹事制度の見直し
- ・若者が出席しやすい環境
- ⇒ 魅力の創出／参加費負担軽減
- ・同窓会の持続性の確保(特に財政面)

3 組織課題

○同窓会組織の現状と問題点

- ・幹事会は元々審議機関
- ・総会イベントは、年度ごとに選定された幹事長以下の組織で執行



- ・執行組織の組織化の困難さ（若い世代不在）
- ・ノウハウ継承・蓄積の不十分さも重なり、業務量負担の増大
- ・同窓会の存在意義が不明確でモチベーション低下（やらされ感）

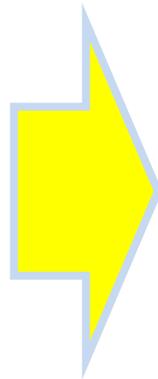
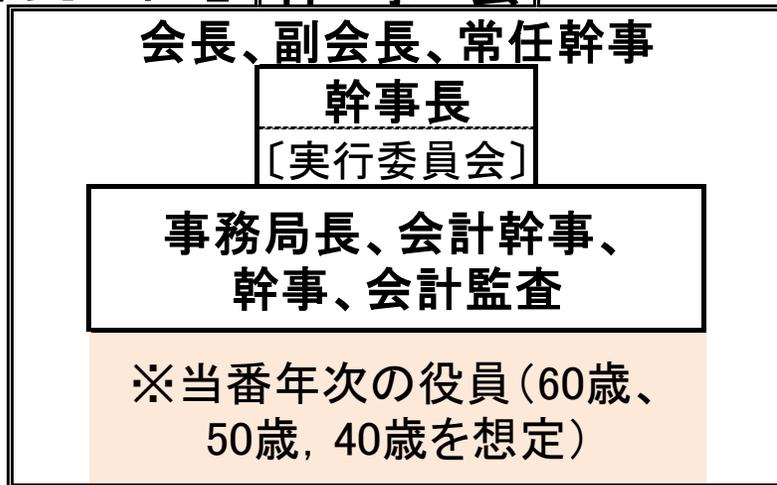
○課題

- ・コンセプトを作り、共有する。
- ・執行組織を整備・充実する。
- ・役割分担を定義し、分業体制を構築する。
- ・企画・執行ノウハウの蓄積・継承システムを作る。

4 組織再編案(解決方策案)

- ① 幹事会組織内に、恒常的業務を含めての執行組織として「部会」を設ける。
- ② 部会は、「総務・企画」、「広報・広聴」、「会員管理」の三部会とする。
- ③ 部会長は、幹事会副会長を充て、副部会長は、当該年度(当番年次)の幹事(役員)を充てる。
- ④ その他の部員は、当該年度に加えて、前年度・翌年度(予定)の幹事(役員)と常任幹事を充て、複数年世代で順次交代する。

【現在】 幹事会



【再編後】

